

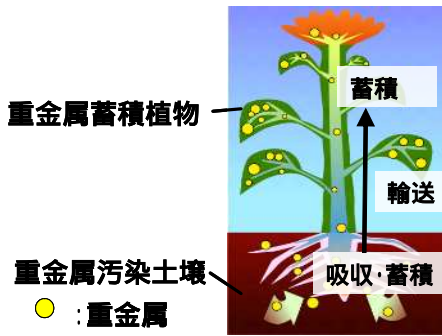
ファイトレメディエーション

環境事業部

人・街・未来へ  小泉

(独)科学技術振興機構 独創的シーズ展開事業・委託開発 成功認定受理(2009年3月24日付)

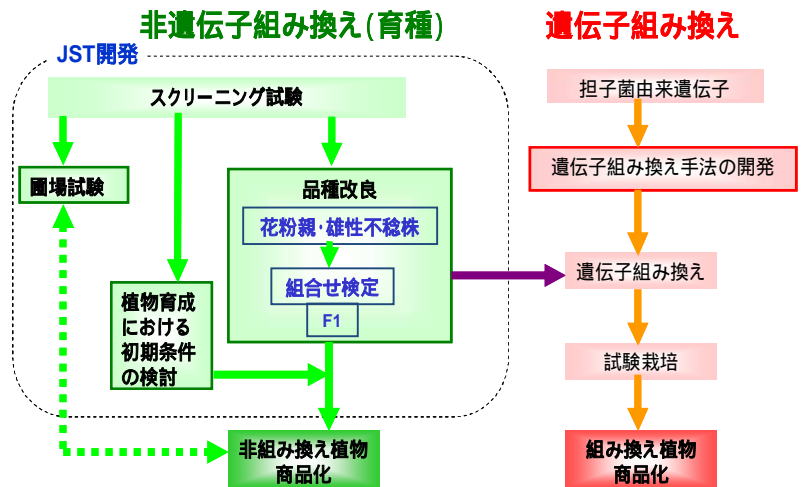
技術の概要



植物が育成する自然の力(光、CO₂)を利用
浄化費用が3,000円/m² ~ と安価
環境負荷(CO₂吸収)が小さい
景観に優れている

汚染土壌浄化方法(特願2009-023182)

開発の経緯



品種改良



レメディアパール

(農水省品種登録出願 第23476号)

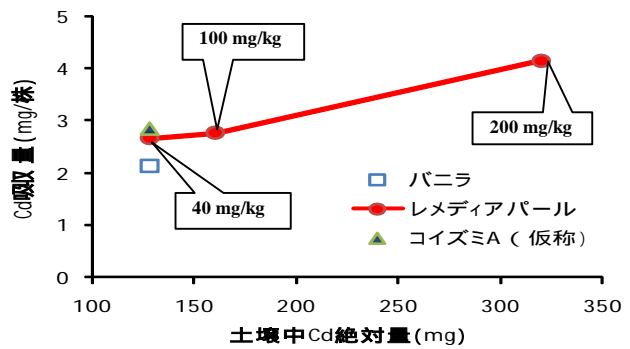
パニラ由来開発品種



コイズミA (仮称)

パニラとイカゴールドの交雑開発品種

品種改良種によるCd吸収能力(高濃度)



実証試験(山形県 T市・長野県 H村(H15~17)、山梨県 H市(H21))



平成15年6月撮影(T市)

従来品種の場合



平成15年8月撮影(H村)

品種改良種の場合



平成21年7月撮影(H市)



平成21年9月撮影(H市)

品種	年度	Cd吸収量 (g/10a)
インカゴールド	2003	20.7
	2004	8.0
	2005	9.5
	合計	38.2
パニラ	2003	12.1
	2004	5.1
	2005	10.7
	合計	28.0

品種	Cd吸収量 (g/10a)
レメディアパール	36~53
コイズミA(仮称)	44~64

イカゴールドの1.2~1.7倍、パニラの1.6~2.3倍の吸収

イカゴールドの0.9~1.4倍、パニラの1.3~1.9倍の吸収

群馬県A市汚染土壌を用いて検出されたCd吸収量から算出

対外発表・報道

NHK おはよう日本 中継特集 平成21.7.13放映
化学工業日報 11面 平成21.6.1掲載
日本産業新聞 11面 平成21.5.29掲載
日本農業新聞 16面 平成21.5.29掲載
科学技術振興機構報 第637号 平成21.5.28掲載